

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		9/23~9/30	9/30~10/7	10/7~10/14	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.067	0.17	0.088
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.030	0.095	0.033
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.090	0.016
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.12	0.23	0.14
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.019	0.050	不検出
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.020	0.050	不検出
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.086	0.019
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.035	0.069	0.052

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)			
		9/23~9/30	9/30~10/7	10/7~10/14	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.019	0.031	不検出
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出	不検出
		セシウム137	0.015	0.022	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授

(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

市内の大気浮遊じん中のセシウム137濃度は、平均値が0.05mBq/m³で、この濃度の放射性物質から発せられる放射線は極めて低い濃度であり、健康影響について心配はいりません。

原発の事故から、まもなく10年経とうとしています。この2-3年に観測されている大気浮遊じん中の放射性物質に由来する放射線量は、自然放射線量のばらつき範囲内に留まっています。それでも、健康影響に不安をお持ちの方もいると思いますが、人類が放射線を発見してから100年余の間に蓄積した放射線の生体影響に関する科学データをもとに推測すれば、毎日、不安に暮らすよりも、将来に希望を持って、積極的に行動していただいても良いのではないかと思います。